月　日 名前

／100点

【答え】

【小4】国語 文章問題　物語文 4

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

学校を出ると、雨がふり出していた。朝は晴れていたので、かさを持ってきていない子が、げた箱の前にたくさん立っている。わたしは、ランドセルの横にさしていたおりたたみのかさを広げた。門を出たところで、二年生の弟が、ひとりでしょんぼり立っているのが見えた。弟は、かさを持っていなかった。

「お姉ちゃん。」

弟はわたしを見つけると、ほっとしたように走ってきた。わたしは、少しこまった。このかさは小さくて、二人で入ると、きっとどちらもぬれてしまう。それに、同じクラスの友だちが見ている前で、弟といっしょのかさに入るのは、なんだかはずかしかった。

「……入りなよ。」

わたしは、ぶっきらぼうに言って、かさを弟のほうにかたむけた。

二人で歩き出すと、思ったとおり、わたしの右のかたはすぐにぬれた。弟は、わたしの左手にぴったりくっついて、水たまりをよけながら歩いた。

家に着くと、弟は「お姉ちゃん、ぬれてる。」と言って、タオルを持ってきてくれた。弟の頭は、少しもぬれていなかった。

わたしはタオルを受け取りながら、「べつに。」と言った。ぬれたかたが、なぜだかちっとも冷たくなかった。

（この問題のための書き下ろし）

問一　弟は、わたしを見つけたとき、どんな様子でしたか。本文から十五字までで書きぬきましょう。

ほ	っ	と	し	た	よ	う	に	走	っ	て	き	た				

問二　「わたしは、少しこまった」とありますが、なぜこまったのですか。二つのわけを、四十五字までで書きましょう。

か	さ	が	小	さ	く	て	二	人	と	も	ぬ	れ	て	し	ま	う
し	、	友	だ	ち	の	前	で	弟	と	入	る	の	が	は	ず	か
し	か	っ	た	か	ら	。										

問三　「かさを弟のほうにかたむけた」から分かるわたしの気持ちとして、いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　自分がぬれるのがいやで、おこっている気持ち。

イ　早く弟とわかれて、友だちと帰りたい気持ち。

ウ　口ではぶっきらぼうでも、弟をぬらしたくないというやさしい気持ち。

ウ

問四　「ぬれたかたが、なぜだかちっとも冷たくなかった」という書き方は、どんなことを表していますか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　雨が、あたたかい雨だったこと。

イ　弟がタオルを持ってきてくれたことがうれしく、心があたたかくなったこと。

ウ　タオルでふいたので、かたがすっかりかわいたこと。

イ

【小4】国語 文章問題　物語文 4　答えと解説

問一（二十五点）　答え：ほっとしたように走ってきた

解説：四つ目のまとまりの最初の文から。

問二（二十五点）　答えの例：かさが小さくて二人ともぬれてしまうし、友だちの前で弟と入るのがはずかしかったから。

解説：すぐあとの二つの文から。二つのわけが両方書けていれば正かい。一つなら半分。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①かさが小さく、二人で入るとどちらもぬれてしまう

②友だちの前で、弟といっしょのかさに入るのがはずかしい

問三（二十五点）　答え：ウ

解説：言い方は「ぶっきらぼう」でも、かさを弟のほうにかたむけ、自分のかたがぬれている。家に着いたとき、弟の頭は少しもぬれていなかった。

問四（二十五点）　答え：イ

解説：「べつに。」と言いながらも、弟の思いやりがうれしかった。体の冷たさではなく、心のあたたかさを表している。

free-print.net　|　文章・問題は free-print の書き下ろし　|　学校・塾での印刷・配布は自由です